

シリーズ
認定看護師の紹介
第3回 認知症看護認定看護師
当院で活躍する認定看護師を紹介します

認知症看護認定看護師として、認知症の人の意思を尊重し、権利擁護・自律性（自己決定）を支援し、認知症の状態に合わせたケアを心がけています。「認知症ケアチーム」として多職種と協働し、ケアの実践・評価を実施し、周囲へのサポートも実施しています。入院治療に伴う行動・心理症状（BPSD）を悪化させる要因・誘因に働きかけ、「その人らしさ」や「笑顔」を保ち続けられるよう「持てる力」に着目した看護を目指しています。



荒明 ひとみ

医療連携だより

東京医科歯科大学医学部附属病院の理念と基本方針
●理念：安全良質な高度・先進医療を提供しつづける、社会に開かれた病院
●目標：1. 患者中心の良質な全人的医療の提供
2. 人間性豊かな医療人の育成
3. 高度先進医療の開発と実践
4. 国民のニーズに応える開かれた病院

医療連携支援センター TEL: 03-5803-4655 (地域連携室)
FAX: 03-5803-0119
予約専用FAX: 03-5803-0285



財団法人日本医療評価機構 認定病院

新型コロナウイルス感染症対策基金にご協力ください
<https://www.tmd.ac.jp/medhospital/covid-19/contribution/>

東京医科歯科大学は2つの基本理念で、新型コロナウイルス感染症に正面から取り組んでいます。

- 東京医科歯科大学では「医学部附属病院における新型コロナウイルス感染重症・中等症陽性患者の受入体制の構築」を、最優先事項に位置付け、全学的な支援を行っております。
- ポスト新型コロナウイルス感染症の社会に備えた医療体制を整えます。ご理解、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



メールマガジンにご登録ください！

医療連携支援センターでは、メールマガジンを発行しております。配信をご希望される場合は、地域連携室へお電話をお願いいたします。



TEL: 03-5803-4655

医療機関からの初診事前予約について お問い合わせ先 03-5803-4655 (地域連携室)

*土日祝祭日・年末年始(12月29日～1月3日)、および受診日当日の予約は受け付けておりません。また、翌日分の予約は14時までとなっております。
*時間外・休日などの申込み分は翌診療日にご連絡させていただきます。(FAX受信は24時間可能)

FAX 予約の場合

FAX: 03-5803-0285 (受付時間 8:30 ~ 16:00)

上記番号に、紹介状・申込書を送信してください。速やかに当院よりFAXで「外来診療予約票」を返信します。



電話予約の場合

TEL: 03-5803-4655 (受付時間 8:30 ~ 16:00)

上記番号に、電話をおかけください。その際に患者さんの氏名・生年月日・希望診療科名・予約希望日をお知らせください。



カルテ閲覧のご案内

当院と連携協定を結んでいる医療機関様に限り
地域連携システムを利用して、当院カルテの閲覧が可能になります

連携医療機関様の大きな負担なしで利用可能です

インターネットに接続できるパソコンが1台あればOK！
右記の要件を満たしていれば、既存の端末を使用しても構いません。



要件

1. インターネットに接続できる環境があること。また、PCの設置場所は施錠できる環境にあること。
2. Microsoft社のサポート期間内のOSにて動作するパソコンを使用すること。
3. Microsoft社のサポート期間内のInternet Explorerを使用すること。
4. 有償のウイルス対策ソフトを実施し、Winnyなどのファイル共有ソフトを削除すること。
5. PDFファイルの閲覧にはAdobe社のサポート期間内のPDF閲覧ソフトを使用すること。

★これらの要件を満たしていれば、申込みいただけます！

1. 申請書の提出。
2. 提出いただいたのち、接続させていただけるか検討いたします。
3. 決定後、順次連携医療機関様へ伺って、接続を行います。

※申込み多数の場合は、利用するまでにお時間がかかる場合がございます。

連携協定及びカルテ閲覧の申込み 医療連携支援センター 03-5803-4391



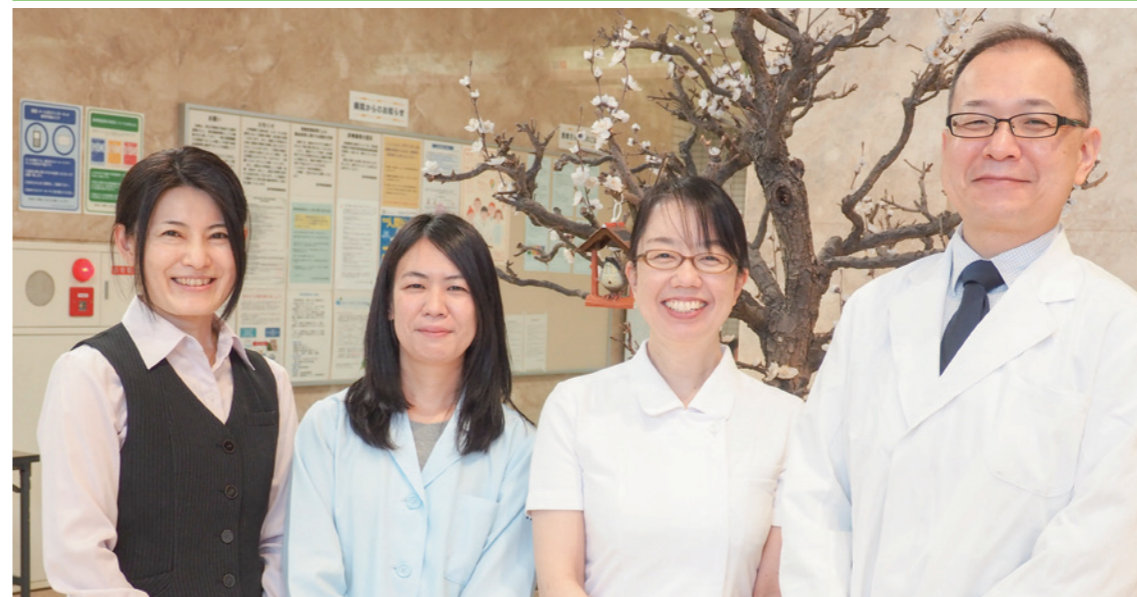
東京医科歯科大学
医学部附属病院
医療連携支援センター長
(病院長補佐)

井津井 康浩 (いついやすひろ)

2021年4月より医療連携支援センター長を拝命いたしました井津井康浩と申します。専門は消化器内科学(肝疾患)、医学教育開発、臨床栄養学などです。これまで本学総合教育研修センターで学生、初期研修医や内科専攻医への教育や管理する仕事をしておりました。また、前職の関係で教育を通じて地域の先生方と交流もしておりましたので、先生方との顔の見える関係が最も大切と考えております。

泉山肇前センター長が築き上げた功績を維持しつつ、地域医療を支える皆様から信頼される部門であり続けたいと思います。具体的には皆様よりご紹介いただきました患者さんが、安心してスムーズに当院への通院や入院ができるように、お手伝いをするのが当センターの役割であると考えております。

当センターは、入院支援、退院支援および地域連携をはじめとした業務を、多職種で担当しています。このような各職種の強みを生かすことができる環境作りがセンター長としての責務と考えております。当センターの主役は私以外の全てのスタッフで、スタッフ全員がやりがいを持ちながら働くことで、地域の先生方や医療機関の皆様、そしてご紹介いただいた患者さんにご満足いただける医療を提供できると考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



医療連携支援センターの役割

- 紹介患者さんのスムーズな受け入れ
- 医療機関からの初診事前予約受付
- 入院・退院患者さんとそのご家族のサポート
- その他の医療・福祉相談



TOPICS

- 新・医療連携支援センター長のご挨拶
- 前・医療連携支援センター長のご挨拶
- 副センターのご挨拶
- 新メンバー紹介
- 「東京医科歯科大学病院」へ名称変更
- WEB講演会が開催
- 認定看護師の紹介
「第3回 認知症看護認定看護師」

前・医療連携支援センター長のご挨拶



井津井新センター長より

「医師になった最初の2ヶ月間の指導医が泉山肇先生でした。基本に忠実に、患者さんや医療スタッフには常に優しく接する姿を学びました。センター長としての7年間で当院の医療連携の基礎を固めてくださいましたことに深く感謝いたします。ありがとうございました。」

連携病院の皆様

春暖の候、皆様には益々ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。日頃より東京医科歯科大学医学部附属病院との医療連携に格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

先日、白血病から奇跡の復活を遂げたスイマーの池江璃花子さんがインタビューで『「出口のないトンネルはない」との主治医の一言に大変励まされた』と仰っていたことがとても印象的でした。第4波が迫りつつある今日この頃ですが、ワクチンが奏功し、出口のきっかけとなることを期待しつつ、この厳しい状況を皆様と共に乗り越えられるよう医療従事者として尽力していきたいと思っております。

さて、私事で大変恐縮ではございますが2021年3月31日をもって本学を退職することとなりました。2014年4月、医療連携支援センター長に就任して以来、当院での医療連携の新規立ち上げでしたので、各医師会の先生方をはじめ多くの地域医療機関の皆様にご大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。本来であれば、直接お伺いしてお礼を申し上げるのが筋とは存じますが、COVID-19拡大により厳しい状況ですので文書でのご挨拶でご容赦頂ければ幸いです。

当センターは、まだまだ途上の組織です。大変厚かましいお願いですが、恐縮ではございますが、これまで以上の皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。お世話になりました。

前・医療連携支援センター長 泉山 肇

副センター長のご挨拶

2021年4月より、医療連携支援センターの副センター長を拝命いたしました。これまで、病棟やICU、ERで勤務し、2020年7月からはベッドコントロールセンターの看護師長として緊急入院の対応や入院患者さんの病床調整に従事してまいりました。短い在院日数で濃厚な治療を受けられ、退院支援が必要となった方に数多く接した経験の中で、より早期からの取り組みが重要であることを痛感してきました。さまざまな疾患や障がいをお持ちの患者さんおひとりおひとりの生活を大切にしながら、患者さんを中心としたよりよい療養環境が整えられるよう、外来受診中から積極的に関わりを持つこと、そして多職種が有機的に協働していく必要があると考えております。地域医療連携について一日も早く理解を深め、皆様のお役に立てるよう努めてまいりますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

西 奈緒 副センター長



新メンバー紹介



石井 理恵 (写真右)
所属：医療連携支援センター事務局 事務室長

2021年4月1日より医療連携支援センター事務局室長を拝命いたしました。皆様のお役に立てるよう尽力して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

平井 小波 (写真左)
所属：医療福祉支援室 MSW

患者さん、ご家族に寄り添った支援を心掛けます。業務内容を身につけ、早く皆様のお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願い申し上げます。

INTEGRATED

2021年10月から一体化、「東京医科歯科大学病院」へ名称変更予定

10月1日、「東京医科歯科大学病院」へ

当院（医学部附属病院）と歯学部附属病院は一つになり、2021年10月から「東京医科歯科大学病院」として新たなスタートを切ることになりました。東京医科歯科大学は、「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」という理念に基づいて、開学以来、歯科・内科、二つの病院において、高度な医療の提供、医師および歯科医師等の育成、新たな医療技術の研究・開発を行ってまいりました。しかし、今後の高齢社会の進行による疾病構造の変化や、今回の新型コロナウイルス感染症パンデミックのような新たな傷病の出現を見据えて、口腔疾患

と全身疾患の区別なく、トータル・ヘルスケアを実現することを大学の目標に定めました。このような大学の目標を達成するために両病院が一つになり、医科・歯科を問わない診療科間の協力を可能にすることで、より高度で、安心安全な医療が提供できるものと考えています。新しい東京医科歯科大学病院においては、「世界最高水準のトータル・ヘルスケアを提供し人々の幸福に貢献する」ことを目標に、職員一同一層の努力をしております。連携病院の皆様には、ご不便やご負担をおかけせずに「東京医科歯科大学病院」スタートの日を迎えられるよう、準備を整えてまいりますので、よろしくお願いいたします。



内田 信一 医学部附属病院 病院長

水口 俊介 歯学部附属病院 病院長

「僕の専門は腎臓内科なので、慢性腎臓病（CKD）などの患者さんに対する口腔ケアなどで、歯学部附属病院のスタッフの皆さんには、以前からお世話になっています。一体化によって、すでに医学部附属病院を受診していた患者さんにも、今まで以上にスムーズに最先端の歯科治療をお届けできるのではと思っており、歯周病はじめ、多くの分野で進んでいる研究面での連携の成果も、患者さんに還元していきたいと思っています」

「年齢を重ねても健康であるためにお口と歯の健康はとても大切です。僕の専門は高齢者歯科学と補綴学、簡単に言うと高齢者のお口と歯の健康、および義歯の研究です。今まで培ってきた世界最高レベルの歯科診療実績と技術を、一体化する東京医科歯科大学病院にいらっしゃる患者さんに役立てることができるように取り組んでまいります」

WEB講演会が開催されました

2020年度は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の状況を鑑み、情報交換と交流の場として例年開催しておりました「医療連携会」から形式をかえて、オンラインで診療科の取り組みをご紹介します講演会を開催いたしました。

開催概要

- ・日時：2021年3月9日（火） 19：00～20：00
- ・講演：演題「消化器癌の最新治療 ～東京医科歯科大学消化管外科学分野での取り組み～」
- ・演者：東京医科歯科大学大学院 消化管外科学分野 医学部附属病院 大腸肛門外科/低侵襲医療センター 教授 綿笠 祐介

